

## 別紙

### 3 極知財会合合意事項（概要）

2007年11月29日

IIPPF 事務局

11月27、28の両日、東京（ホテルニューオータニ）で開催した標記会合における主要合意事項は、以下のとおり。

- 1) 模倣品・海賊版拡散防止条約(ACTA)への支持、早期発効への期待表明（記者発表）
- 2) US Chamber による対中（商務部）ステートメント作成への IIPPF および BUSINESSEUROPE による協力
- 3) 中国知財関係法規の改正動向モニタリング：3極による情報交換・共有
- 4) 世界の自由貿易地域 (FTZ) における税関の評価 (rating)：BUSINESSEUROPE が作成する叩き台をもとに検討
- 5) インターネット上の海賊版摘発技術に関する協力：タイムワナー社(US Chamber)とコンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)による検討
- 6) 中国のライセンス制度の改善：IIPPF による建議の推移についての情報共有
- 7) 強制実施権問題の検討：メルク社(US Chamber)による叩き台を日本製薬工業会で検討
- 8) ACTA の動向のフォロー、要望インプット：タスクフォース設置で米欧が一致。IIPPF は情報共有化の窓口設置の方向で検討。
- 9) その他：
  - 参加者のコンタクトリスト作成：IIPPF が担当
  - 対中キャパビル協力スケジュールについての情報交換
  - US Chamber が CII とムンバイで共催する「国際知財フォーラム」への日欧の参加、アジェンダ作りへのインプット

以上